

**過去最高の応募総数 196 団体の中から**  
**『第 16 回コカ・コーラ環境教育賞』 大賞決定！**  
**活動表彰部門「大多喜町立老川小学校(千葉県)」**  
**次世代支援部門「置農 MOTTAINAI プロジェクトチーム(山形県)」**  
8月8日 雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウスにて最終選考実施

財団法人コカ・コーラ教育・環境財団（所在地：東京都港区 理事長：縄 英明）は、去る8月8日雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス（北海道夕張郡栗山町）において『第16回コカ・コーラ環境教育賞』の最終選考会を実施いたしました。最終選考会には、過去最多全国196の団体から選出された小学生から大学生までの15の団体が参加し、各団体の手掛ける環境活動のこれまでの実績や成果、今後の企画を発表しました。そして厳正な審査の結果、『第16回コカ・コーラ環境教育賞』活動表彰部門大賞は大多喜町立老川小学校（千葉県）、次世代支援部門大賞は、置農 MOTTAINAI プロジェクトチーム（山形県）が受賞いたしました。

コカ・コーラ環境教育賞は、1994年の賞設立から今年で16回目を数え、これまでは小学生から高校生及びその指導者を対象に、環境ボランティア活動の助成・支援を通じた環境教育・環境保全活動の促進を目的として実施されてきました。そして昨今の環境教育に関する取り組みの広まりや高度化を背景に、本年度からは大学生にも対象を広げ、本年度より小中学生及びその指導者を対象とした「活動表彰部門」と、高校生・大学生を対象とした「次世代支援部門」の2部門で全国公募を実施しました。

今回の大賞は、過去最高の196団体（活動表彰部門134団体、次世代支援部門62団体）の中から選ばれた15団体（活動表彰部門10団体、次世代支援部門5団体）が8月8日に行われた最終選考会に臨み、大賞が決定いたしました。

### 【第16回コカ・コーラ環境教育賞 選考委員長 総評】

#### ■ コカ・コーラ教育・環境財団 財団理事 小澤紀美子氏

「コカ・コーラ環境教育賞」も16回目を迎え、より「本質的な学び」を行うものに変貌を遂げつつあることが伺えます。応募団体の発表内容を見ても、環境問題の現状や危機意識を訴えるものから、これからの未来に向けて、自分たちは、そして地域として出来ることは何かを訴えるものが多かったです。

選考にあたっては、以下の五つの点を考慮に入れて、審査員で議論を重ねていきました。

まず、自分たちの身近にある課題から出発して活動を発展させていること。そして二つ目は、環境だけではなく地域の人々と関わり、教育資源を活用し活動を深化させていること。三つ目は、自分たちの活動を発信し、他の人々と共有していること。四つ目は、学校の学びだけではなく、生活の知として個人の学びを発展させていること。そして一番重要なこととして、人と自然、人と地域など、社会の未来を創る活動であること。

近年は、生物多様性に注目が集まっていますが、教育の質・学びの質が根本的なものになる中で、今後は自分たちが感じた課題を発信し、地域を中心として周囲にある多様な専門性と関連づけていく力が求められています。

次世代を担う子どもたちはもちろんのこと、それを支える地域や企業、大人たちも、この環境教育賞のような支援を続け、発展していくことを切に望んでいます。

## 【第 16 回コカ・コーラ環境教育賞 受賞結果】

### ■「活動表彰部門」大賞 大多喜町立老川小学校(千葉県)

**活動内容** : 大学・博物館や地域と連携した自然観察会やふるさと探検

身近な自然を活用した体験学習を実施し、「生き物レッドデータブック」等の冊子制作や発表を行っている。活動を通し、環境保全意識を高める共に表現力やコミュニケーション力も養っている。

**受賞コメント** : 大賞を受賞できて感激です。これからも総合学習として老川の自然観察などのエコ体験を続けていきたい。また地域の人などとも交流し、活動を広めていきたい。

### ■「次世代支援部門」大賞 置農 MOTTAINAI プロジェクトチーム(山形県)

**活動内容** : 資源循環型農業の創出と地域生物資源循環システムの構築活動

ワインの搾りかすを家畜のエサにリサイクルする取り組みによって、地域産業廃棄物の減量化に挑みながら、製造したリサイクル肥料を畜産農家に供給。

**受賞コメント** : どの参加団体もレベルが高かったので、大賞を受賞できて嬉しい。今後も飼料の低コスト化や地域のブランド化に努めるとともに、これまで以上に地域や企業との連携を図っていきたい。

## 【第 16 回コカ・コーラ環境教育賞 優秀賞】

活動表彰部門 (対象:小中学生及びその指導者)		
北海道	こどもエコクラブくしろ (釧路市)	釧路湿原の動植物の生態観察、特定外来種の駆除、苗木の植樹などを通じた環境保全活動。
	栗山町ハサンベツ里山計画実行委員会(夕張郡)	離農跡地を里山へ再生する活動。子どもたちに稲作や魚道作りなどの自然体験学習を実施。
茨城県	いなしきくん みほそんりつおおや 稲敷郡美浦村立大谷小学校 (稲敷郡)	霞ヶ浦の水質、生物、歴史について専門機関と連携して学習。研究結果などを学会で発表。
愛知県	あま広域環境学習グループ エコきつず調査隊 あまぐん (海部郡)	地域の水環境保護を目的に河川や田んぼ、干潟の生物調査を実施。研究結果を各所で発表。
岐阜県	岐阜市立三輪中学校 (岐阜市)	間伐など森林の保全活動を実施。伐採木を燃料として利用し、木質資源の循環について学習。
鳥取県	ひこな 彦名地区チビッツ環境パトロール隊 (米子市)	町内の排水などを 20 の項目からチェック。廃てんぷら油を回収し水質汚濁の防止活動を展開。
鹿児島県	いずみ しょう 鹿児島県出水市立 荘 中学校ツルクラブ (出水市)	出水平野に飛来する鶴の羽数調査を実施。また生態等も研究し、国や県の保護政策に協力。
沖縄県	きせん ばるしょうちゅうがっこう くにかみぐん 喜瀬武原小中学校 (国頭郡)	環境教育 9 年計画を策定。バイオエタノールの精製や地域河川の調査などの活動を展開。
	いりおもて 西表 ヤマネコクラブ (八重山郡)	地域の自然観察や海岸の清掃活動などを実施。イリオモテボタルの観察は 10 年以上継続。
次世代支援部門 (対象:高校生・大学生)		
東京都	ぐるーぶ しえいきーず Group SHAKEYS (目黒区)	環境・エネルギー問題を扱うボードゲーム型の教材を開発。小中学校の授業へ導入を目指す。
神奈川県	東海大学チャレンジセンター環境キャラバン隊 (平塚市)	マイクロバスをバイオ燃料で走るよう改造。また廃油を利用してバスを走らせる取り組みも開始。
長野県	きそせいほう 長野県木曾青峰高等学校森林環境科農業クラブ (木曾郡)	中部電力「日義発電所」の堆積物集積所から落ち葉や腐葉土を選別回収し、森林保全に活用。
愛知県	愛知学院大学 起業研究会 (日進市)	個人や学校などから土を回収し、微生物を含んだ“健康な土”として返すプロジェクト。

## ■「コカ・コーラ環境教育賞」概要

名 称	第 16 回コカ・コーラ環境教育賞
主 催	財団法人コカ・コーラ教育・環境財団
後 援	文部科学省、環境省
部 門	<活動表彰部門> 小中学生とその指導者を対象として環境教育・環境保全活動の実績を顕彰
	<次世代支援部門> 高校生および大学生による環境保全・環境啓発に寄与する新しい企画を評価、支援
支 援 内 容	<活動表彰部門> 大賞（1組） 活動助成金 50 万円 優秀賞（9組） 10 万円
	<次世代支援部門> 大賞（1組） 企画支援金 100 万円 優秀賞（4組） 30 万円